

つきましては、次のとおり本会からの要望を提出いたしますので、よろしくお取り計らいのほど、お願い申し上げます。

なお、新型コロナに関する各種の要望と同じく、すべての事項について完全に履行することを求めるものではなく、知的障害児者向けの対応方策の検討を本会や関係団体とともに考えていただきたい趣旨であることを申し添えます。

記

1 重症化リスクのある基礎疾患を有する人などへの確実な優先接種

本会としても、現時点の知見により、知的障害であること自体は新型コロナの重症化リスク要因ではないことを理解しております。

しかし、当然ながら一定数は重症化リスクのある基礎疾患を有する人もいますし、重度重複障害児者についてはそもそも基礎体力が十分でなく、感染症全般に大きなリスクを有しているといえます。

こうした重症化リスクのある基礎疾患を有する人などへの確実な優先接種を地方自治体へ改めて通達してください。

2 障害福祉サービス事業所などにおける集団接種の実施

貴省のホームページによると、ワクチン接種には大きく地方自治体の指定する会場での集団接種、指定医療機関での個別接種が例示されています。

しかし、知的障害や発達障害(自閉症圏)の人がスムーズに接種するためには、慣れた施設や医療機関での対応が重要と考えます。

接種場所については柔軟に対応するよう、地方自治体へ通知してください。

また、障害福祉サービス事業所や障害者支援施設単位で接種可能とする場合には、当該事業所等利用者のうち、接種順位が最も高い人へタイミングを合わせていただきますよう、あわせて通知してください。

3 接種に関する本人意思確認の支援

知的障害児者にとっては、新型コロナそのものがどういった感染症であるか理解しにくいことに加え、ワクチンの接種にはどのような効果と副反応が想定され、なぜ期間をあけて2回接種する必要があるのかなど、ワクチン接種に関する分かりにくさも

想定されます。

さらに、ワクチン接種を希望するか否かについて、本人の意向を確認するための支援が必要な人が多いことにも十分留意する必要があります。

田村厚生労働大臣も、国会において「国民にしっかりと情報提供したうえで、本人の意思に基づき」接種の是非について判断することが重要である旨を答弁していることを踏まえて、次の2点について早急な対応をお願いいたします。

(1) ワクチンの接種による効果と副反応(特に重篤な副反応が起こりやすい状況、てんかん発作との関係性、アレルギーの有無など)、期間をあけて2回接種する必要性などを、知的障害者に分かりやすく情報提供するリーフレットなどを作成し、広く周知してください。

知的障害児者だけでなく、子どもや国外にルーツを持つ人たちへの情報提供としても有効と考えます。

(2) 分かりやすい情報提供を基礎として、障害福祉サービス事業所等において浸透しつつある意思決定支援の取組みを最大限に活用し、ワクチン接種の希望については可能な限り丁寧に本人の意思を確認する取組みを徹底してください。

以上

「今月は東成区民生委員児童委員の皆さんと勉強会をしました」

大阪市西部地域障がい者就業・生活支援センター 管理者 藤原 勇治

今回、東成区民生委員児童委員協議会様のお招きをいただき、障がい理解・啓発を目的とした研修会でお話させていただく機会が持てました。

東成区民生委員児童委員協議会では、過去にいくつかのグループに分かれて、『あいサポート運動』の勉強会も受講されるなど、熱心な活動を展開されています。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、毎年実施されているいくつかの行事がほぼ中止となり、今回の研修会が、今年度ようやくおこなわ